



令和5年度 基本評価調査		所管部局	農政部	所管課	食品政策課		
施策名	海外への道産農畜産物の販路拡大			施策コード	0610		
政策体系(中項目)	海外の成長力を取り込んだ経済の持続的発展			政策体系コード	2(5)A		
関連重点戦略計画等	知事公約、北海道創生総合戦略					事務事業数	2
特定分野別計画	第6期北海道農業・農村振興推進計画						
SDGs			総合判定		概ね順調		
予算額(千円)	R 5	42,050千円	R 4	1,139,867千円	R 3	729,158千円	

施策目標	道内各地の資源を活かし、海外需要の積極的な取り込みを図るため、「北海道食の輸出拡大戦略」により、北海道産農産物の輸出拡大に取り組む
現状と課題	(農産物等の輸出促進) 輸出実績は伸びているが、引き続き、輸出先国の消費動向の変化や電子取引市場の拡大への対応、北海道産農産物のブランド力の強化が求められる。
前年度二次評価意見	総合計画に掲げる、アジアなど海外への北海道産食品の輸出拡大のため、農林水産物・加工食品の販路拡大が重要であり、総合計画の政策目標の実現に向け、取組の一層の推進を検討すること。
対応状況	関係機関等と連携し、輸出先国の市場ニーズを把握し、商談を強化するなど、確実な販路拡大を図る。

<主な取組>

今年度の取組	(農産物等の輸出促進) 海外への販路拡大に向けて、道産農畜産物・農産加工品のプロモーションを実施するとともに、ECサイト等の活用に向けた調査を行うほか、産地の輸出体制の整備を支援する。
実績と成果	(農産物等の輸出促進) 輸出先国の需要等を踏まえたフェアや商談会を実施し、PRの強化を図った結果、海外の消費者等における道産農産物等への関心がより高まった。 (中国のコロナ禍により一部中止) (R3:10回→R4:5回)
参考HP①	
参考HP②	
参考HP③	

〈指標分析〉 ⇒ 成果指標は、原則、取組項目ごとに1つ以上、全体で5つ以下とする

指標名①	増加	億円	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標(R5)	達成率	指標判定
道産農産物・農産加工品(日本酒含む)の輸出額(暦年)	目標値		125	125	125	125	99.2%	B
	実績値		92	108	124			

設定理由 道内港を通じ海外へ輸出された道産農産物・農産加工品(日本酒含む)の通関額及び道外港を通じ輸出された道産農産物・農産加工品(日本酒含む)の通関額の推計値の合計であり、課題である販路の開拓や需要の喚起・拡大に向けた取組の成果を測る指標として設定。

指標公表時期 毎年調査 翌々年4月頃公表 **出典(根拠計画等)** 財務省函館税関「貿易統計」をもとに北海道農政部作成

分析(主な取組と成果)

北海道・ホクレン・ぎょれん等で構成する「北海道農畜産物・水産物輸出推進協議会」として、輸出EXPO(R4.6.22~24)に出展する等し、効果的なPRを行った。
道産食品全体の輸出額は前年比28.4%増となった。主な要因としては、ホタテガイの中国や欧米での需要が回復したことや、販売単価が上昇したことによる。農畜産物では、令和3年に落ち込んだたまねぎが大幅に回復するとともに、ミルク・クリーム及び米は増加した。特に米と牛肉は過去最高額を更新した。

指標名②			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

指標公表時期 **出典(根拠計画等)**

分析(主な取組と成果)

指標名③			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

指標公表時期 **出典(根拠計画等)**

分析(主な取組と成果)

指標名④			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

指標公表時期 **出典(根拠計画等)**

分析(主な取組と成果)

指標名⑤			R3年度	R4年度	R5年度	最終目標(R7)	達成率	指標判定
	目標値						-	-
	実績値							

設定理由

指標公表時期 **出典(根拠計画等)**

分析(主な取組と成果)

〈取組分析（連携状況、緊急性・優先性）〉

連携状況	(課題) 海外への販路拡大に向けて、効果的なプロモーションや、産地の輸出体制の整備などの取組を一層進めていく必要がある。
	(取組) 経済部や水産林務部と情報共有するとともに、農業団体等と連携し、北海道産農畜産物の認知度向上のための商談会やフェアなどのプロモーション活動を実施(R5.7月、中国で開催)。また、ECサイトを活用した販売支援等に取り組み、商流の維持・拡大を推進。
緊急性 優先性	(課題) 海外への販路拡大に向けて、輸出先国の輸入規制の緩和を働きかける必要がある。
	(取組) 国に対し輸入条件の緩和に向けた国家間交渉の推進や予算確保などの要望を実施している(直近はR5年6月)。また、輸出に積極的に取り組んでいる生産者、生産者団体、貿易会社等を訪問し、輸出の実績や課題等の聞き取りを実施し、取組の効果的な推進を図った。

〈取組分析（その他の統計数値等）〉

成果指標で課題への対応を説明済

統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
道内港からの道産農産物・農産加工品(日本酒含む)の輸出額	55億円 (R2年)	48億円 (R3年)	63億円 (R4年)
分析等			
(課題) 重点品目を中心に、さらなる輸出拡大に向けて、既存の商流の維持・拡大及び新たな商流の開拓が必要。			
(分析等) 農業団体等と連携した販路拡大や、輸出に取り組む産地育成への支援を実施。			a

統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			

統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
分析等			
(課題)			
(分析等)			

〈総合判定〉

指標判定	B	連携状況	○	総合判定	概ね順調
		緊急性・優先性	○		
		その他の統計数値等	a		

※ 成果指標の指標判定が「D」の指標

(-)

翌年度に向けた 対応方針	対応方針番号	内容
	①	庁内連携に加え、農業団体等と連携し、北海道産農畜産物の認知度向上・ブランド力を高めるための情報発信や、商談会・フェアを中心としたプロモーション、ECサイトを活用した販売促進等を一層強化することにより、商流の維持・拡大を目指す。
	②	
	③	

〈二次政策評価〉

二次政策 評価	
------------	--

令和5年度 事務事業評価調書				施策名	海外への道産農畜産物の販路拡大	施策コード	0610
----------------	--	--	--	-----	-----------------	-------	------

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局 室名	前年度からの 繰越事業費 (千円)	事業費 (千円)	執行体制			フル コスト (千円)	一次政策評価		二次政策評価意見	
								うち 一般財源	本庁	出先機関		人工計	対応 方針 番号		方向性
0301	0603	一般	道産農畜産物輸出総合対策事業費	・輸出に取り組もうとする産地への支援や、生産者団体との合同PR、品目別のテスト輸出など、総合的な取組を実施	食品政策課		42,050	22,117	4.5	2.0	6.5	93,010	①	改善(取組分析)	
0317	0603 0605	事務	食品政策課総合調整等事務	・道議会議務、予算・決算事務、職員の服務・研修などの事務	食品政策課				1.9	3.5	5.4	42,336			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
											0.0	0			
計						0	42,050	22,117	6.4	5.5	11.9				